MASPRO

ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。

デジアナ変換器
4DACTL
取扱説明書

目次

ページ

安全上のご注意---------- 3

使用上のご注意---------- 5

概要・特長・全体図---------- 6

各部の名称と機能---------- 7

番組を見るために
B-CAS(IC)カードについて ---------- 9

設定の前に
設定の準備 ----------10
電源を入れる ----------11

初期設定
受信チャンネルを設定する ---------- 13
接続しているテレビに合わせた設定 ---------- 20

その他の設定
受信チャンネルの変更 ---------- 21
設定画面 ---------- 23
音声設定 ---------- 24
B-CASカード情報---------- 25
バージョン情報---------- 25
音声レベルの変更---------- 26
放送メッセージ表示設定---------- 27
キーロック(決定／ロックボタンで設定) ---------- 28
キーロック(設定画面で設定) ----------29

困ったとき
故障とお考えになる前に ---------- 30
メッセージ一覧 ---------- 30

地上デジタル放送チャンネル 一覧 ---------- 31

規格表・付属品 ---------- 33

安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は，禁止の行為を示しています。 図の中に禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。 図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

●本器は，ぐらついた台の上や傾いた所など，不安定な場所に置かないでください。落下して，けがの原因となります。

●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACコードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近づけたりしないでください。ACコードが破損して，火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだら（芯線の露出，断線など）当社 支店・営業所に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●付属のACコード，ACアダプターは，本器専用です。他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本器の内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。
火災・感電の原因となります。

●本器に水が入ったり，濡れたりしないようにしてください。本器の上に薬品や水の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。
また，動物が，本器の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●万一，本器の内部に，異物や水が入った場合，本器の電源を切り，ACプラグをACコンセントから抜いて，当社　支店・営業所にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●本器内部のユニットのカバーを外したり，改造したりしないでください。また本器のユニット内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は，当社 支店・営業所にご依頼ください。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐに本器の電源を切り，その後，必ずACプラグをACコンセントから抜き，煙や臭いが出なくなるのを確認して，当社 支店・営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

安全上のご注意 つづき

⚠警告

●万一，本器を落としたり，ケース・カバーを破損した場合，本器の電源を切り，ACプラグをACコンセントから抜いて，当社支店・営業所にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●雷が鳴出したら，本器やケーブル，ACプラグ，ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。
感電の原因となります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となります。また，ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

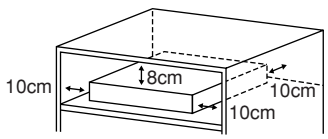
⚠注意

●本器は，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器のそばなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●本器の通風孔をふさいだり，風通しの悪い場所に置いたりしないでください。通風孔をふさいだり，風通しを悪くしたりすると内部に熱がこもり，火災の原因となることがあります。
次のような使い方はしないでください。
・本器やACアダプターを押入れ・本箱・天井裏など，風通しの悪い，狭いところに押し込む。
・テーブルクロスを掛けたり，じゅうたんや布団の上に置く。
・布や布団でおおったり，包んだりする。

●映像・音声入力端子に接続する地上デジタルチューナーなど発熱する他の機器と重ねて設置しないでください。

●ラックなどに設置する場合，左右・後方に10cm以上，上側に8cm以上の間隔をあけてください。



●本器やACアダプターに乗らないでください。
破損して，けがの原因となることがあります。

●本器やACアダプターの上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり，落下したりして，けがの原因となることがあります。

●温室・サンルーム・屋外などの，高温または湿気の多い場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは，ACコードを引っ張らないでください。
ACコードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合，本器の電源を切り，必ずACプラグをACコンセントから抜き，ケーブルや機器間の接続コードなど，外部の接続コードを外したことを確認して行なってください。コードに傷がつくと，火災・感電の原因となることがあります。

●ACコードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して，火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

●本器の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた携帯電話・無線機などから離してご使用ください。

本器が使用する周波数帯域（470～770MHz）に相当する周波数を使った携帯電話・無線機などを本器やケーブルの途中に接続している機器に近づけると，その影響で映像・音声などに不具合が生じることがあります。
そのため，配線に使用するケーブルや分配器，直列ユニットなどには，シールド性能の高い，当社の DIGITAL デジタル放送対応 マーク商品をおすすめします。

次の点にご留意ください

- 本器のチューナー部は，社団法人 電波産業会（ARIB）の運用仕様に基づいた仕様になっています。その仕様に変更があった場合，本器の規格を変更することがあります。
- 本器は日本国内専用です。海外では使用できません。
- B-CASカードは，放送を視聴していただくための大切なカードです。お客様の責任で破損，故障，紛失などが発生した場合，再発行費用が必要となります。万一，破損，故障，紛失した場合，B-CASカスタマーセンター（TEL 0570-000-250，IP電話からの場合 045-680-2868）へご連絡ください。（その他，付属の「業務用B-CASカード使用許諾契約約款」をよくお読みください）
- 万一，本器の不具合で，視聴または録画できなかった場合，補償についてはご容赦ください。
- DVDレコーダー・ビデオデッキなどで録画・録音したものは，個人として楽しむほかは，著作権法上，権利者に無断で使用することは禁止されています。
- コピー制御のしくみに関する一般的な内容については，下記のホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www.dpa.or.jp/
- 取扱説明書に記載の画面は，説明用のものであり，実際に表示されるものと異なることがあります。チャンネル番号，チャンネル名，番組名を含め，実際に表示される内容については，本器に接続されたテレビの画面でご確認ください。

概要・特長・全体図

概要

4チャンネル分の地上デジタル放送の信号をアナログ信号に変換し，UHF帯（ch.13～62）の空きチャンネルを利用して再送信するデジタル−アナログ変換器です。

特長

最大6局まで対応

外部入力端子を2系統，備えていますから，外付けの地上デジタルチューナーからの映像・音声出力信号を入力することにより，アナログチャンネルを最大6局まで伝送することができます。

受信チャンネル，出力チャンネルを任意に設定

地上デジタル放送の受信チャンネルを任意に設定できます。変換後のアナログチャンネルは，UHF帯（ch.13～62）の任意のチャンネルに設定できます。

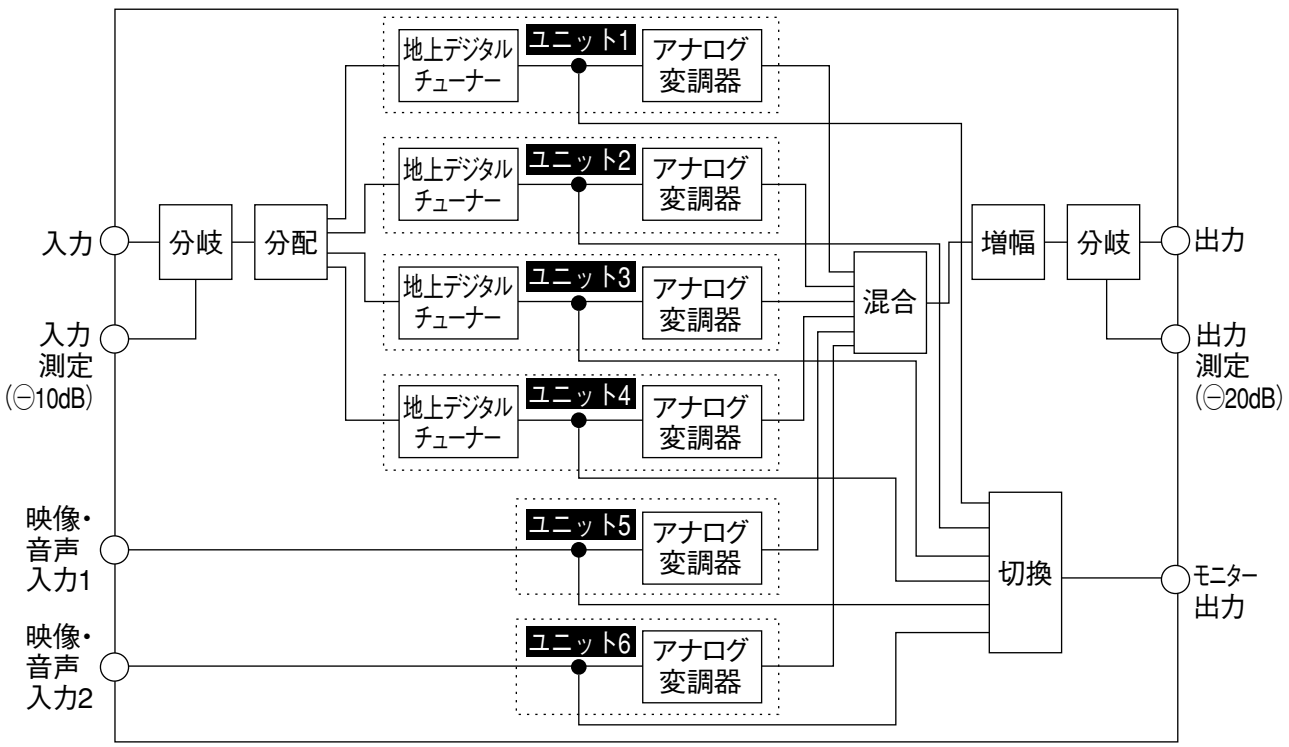
出力レベル調整回路付き

アナログに変換した出力信号のレベルを最適な値に調整できます。

USB端子装備

USB端子にパソコンを接続してファームウェアのバージョンアップができますから，保守が容易です。

全体図



各部の名称と機能

前面

ユニット選択ボタン

●ユニットを順に選びます。
●ユニット「1」～「4」は，本器に内蔵している地上デジタルチューナーとアナログ変調器で構成されています。
●ユニット「5」,「6」は，映像・音声入力端子に接続する外付けの地上デジタルチューナー用のアナログ変調器のみとなります。

入力チャンネル選択／利得調整ボタン

●受信チャンネル（デジタル）を順に選びます。（p.17）
●出力チャンネル（アナログ）の出力レベルが調整できます。（p.18）

出力チャンネル選択／音声モード選択ボタン

●出力チャンネル（アナログ）を順に選びます。（p.18）
●音声の出力モードの切換えをします。（p.19）

機能選択ボタン

表示部に「設定画面」を表示させます。
ボタンを押すたびに

設定画面1
↓
設定画面2
↓
設定画面3

と切換えます。

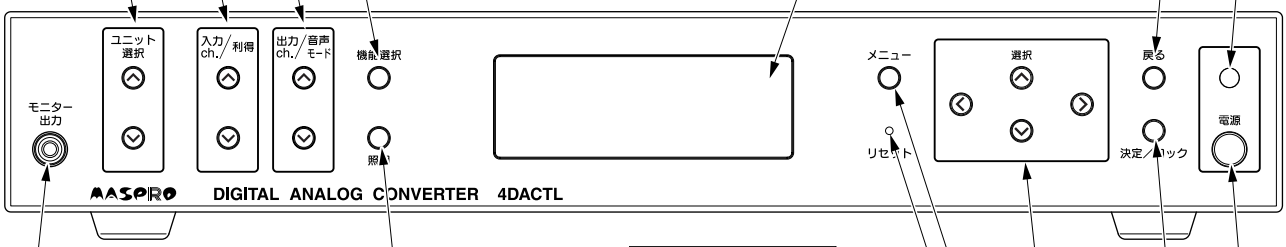
電源表示灯

戻るボタン

選択や設定の画面で，ひとつ前の画面に戻します。

表示部

機能選択ボタンで選択された設定画面を表示します。



リセットボタン

受信異常などで，すべてのボタン操作ができなくなったとき，押します。

モニター出力端子

（RCAピンジャック）
地上デジタル放送を選局するときに，映像を確認できます。（p.13）

メニューボタン

メニューを表示します。

照明ボタン

●押すと，5分間，表示部のバックライトが点灯します。
●点灯しているときに押すと消灯します。

選択（∧∨＜＞）ボタン

メニューや番組表の項目を選択します。

決定／ロックボタン

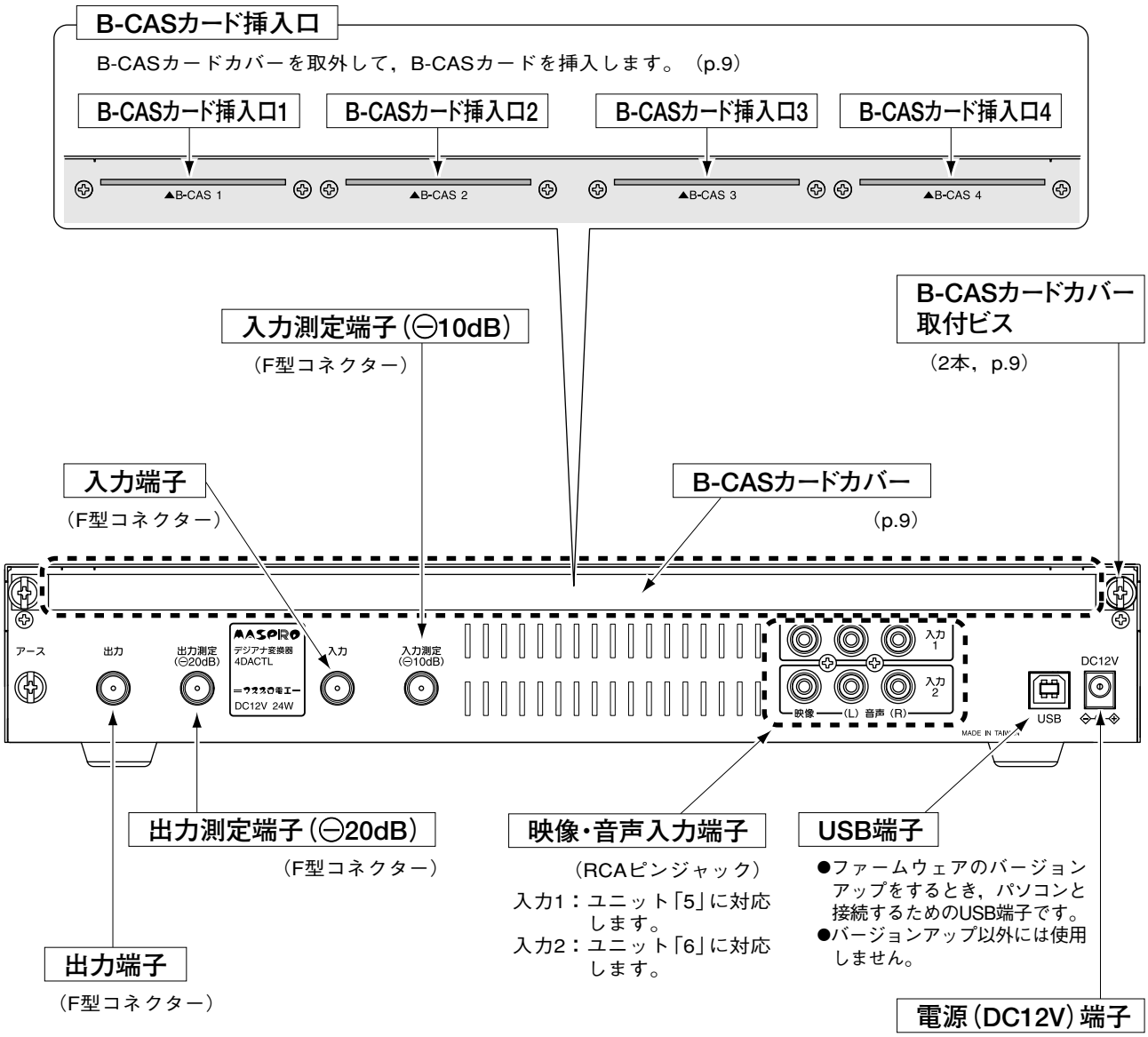
●選んだ項目を決定します。
●長押し（約5秒）で，ボタン操作を無効にします。（p.28）

電源ボタン

●電源の「入」「切」をします。（p.12）
●電源を切るときは，長押し（約3秒）します。

各部の名称と機能 つづき

背面



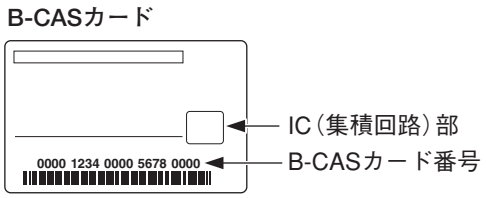
番組を見るために　B-CAS（IC）カードについて

B-CASカードについて

- B-CASカードはデジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。
- デジタル放送は，放送番組の著作権保護のため，原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されます。その信号を有効にするためにB-CASカードが必要です。
- はがきまたはインターネットによるユーザー登録をおすすめします。（登録は任意で無料です）
- B-CASカード番号は，有料番組の契約内容などを管理するために必要な番号です。また，お問合わせのときにも必要です。
- B-CASカードは，カード挿入口に入れておいてください。
  （下記「B-CASカードの挿入」参照）
- 破損，紛失した場合，ただちにB-CASカスタマーセンター（TEL 0570-000-250，IP電話045-680-2868）へご連絡ください。

B-CASカード取扱上のご注意

- 折曲げたり，傷つけたり，変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり，踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり，ぬれた手でさわったりしないでください。
- IC（集積回路）部には手をふれないでください。
- 分解・加工を行わないでください。
- ご使用中は，抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。
- B-CASカードを抜く場合，必ず電源を切って，ACプラグをACコンセントから抜き，ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。
- 裏向きや逆方向で挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。



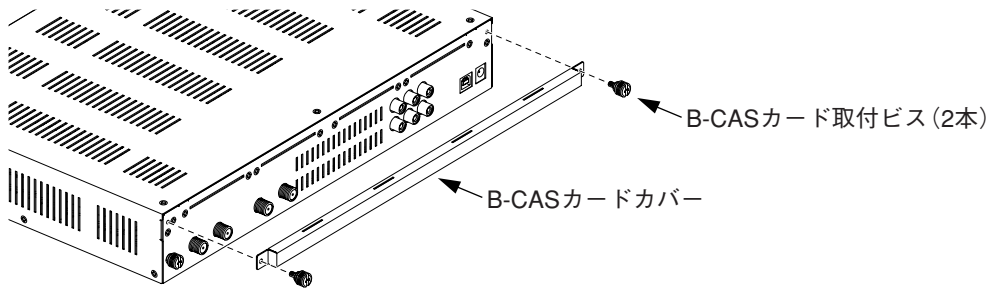
B-CASカードの挿入

ご注意

B-CASカードを挿入しないと，放送は視聴できません。

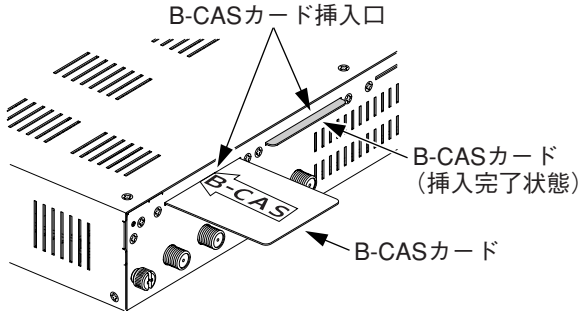
① ACアダプターが接続されているときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

② 背面のB-CASカードカバー取付ビス（2本）を取外して，B-CASカードカバーを取外します。



③ 背面の挿入口にB-CASカードを挿入します。

カードは絵柄の表示されている面を上にして，矢印の方向に，止まるまでゆっくりと挿入してください。
（B-CASカード挿入後は，B-CASカードカバーを取付けてください）



ご注意

B-CASカード以外のものは
挿入しないでください。
故障・破損の原因となります。

設定の前に　設定の準備

設定の前に

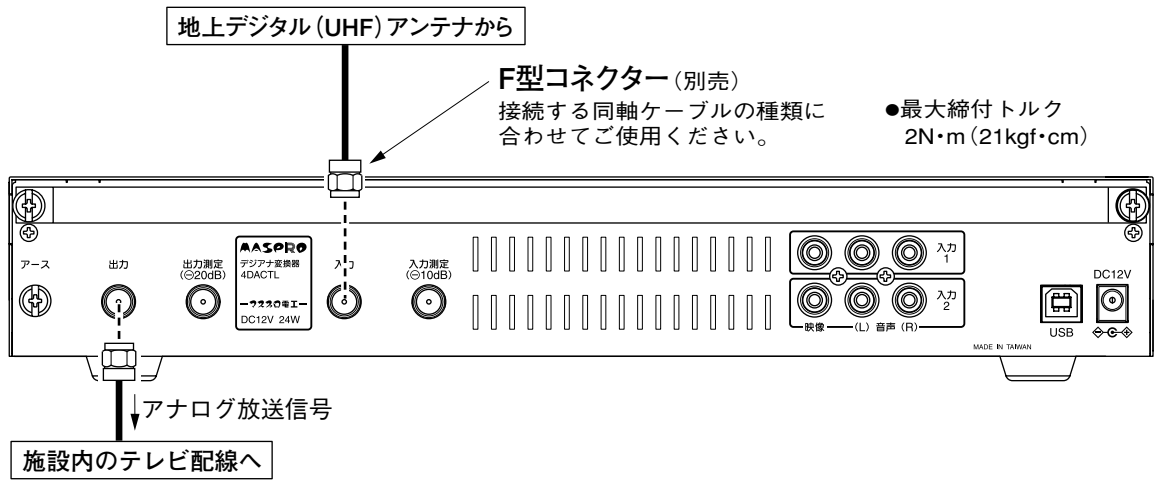
ケーブルの接続

ご注意

ケーブルを接続するときは，コンタクトピン付きの
F型コネクターを使用してください。

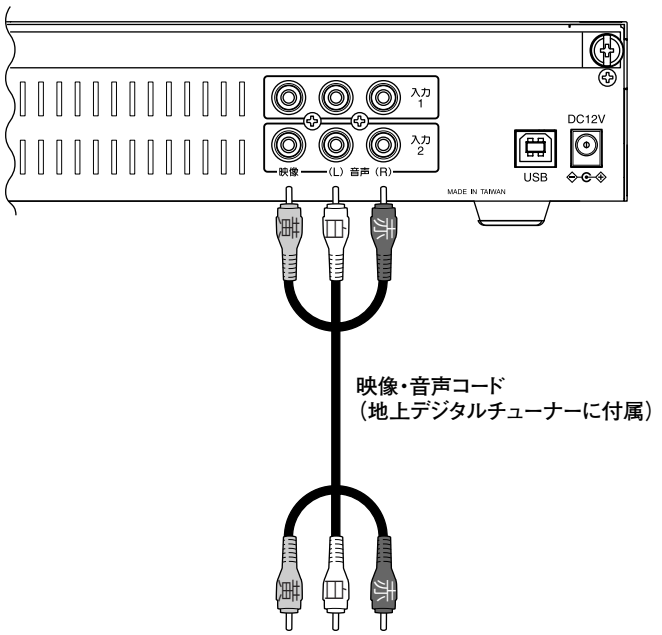
●入力端子に地上デジタル（UHF）アンテナからのケーブルを接続してください。

●入力測定端子の信号レベルが40dBμV未満のときは，ブースターを挿入し，40～80dBμVに
設定してください。



外付け地上デジタルチューナーを接続する場合

外付けの地上デジタルチューナーを接続するときは，RCAピンタイプの
映像・音声コードで接続してください。



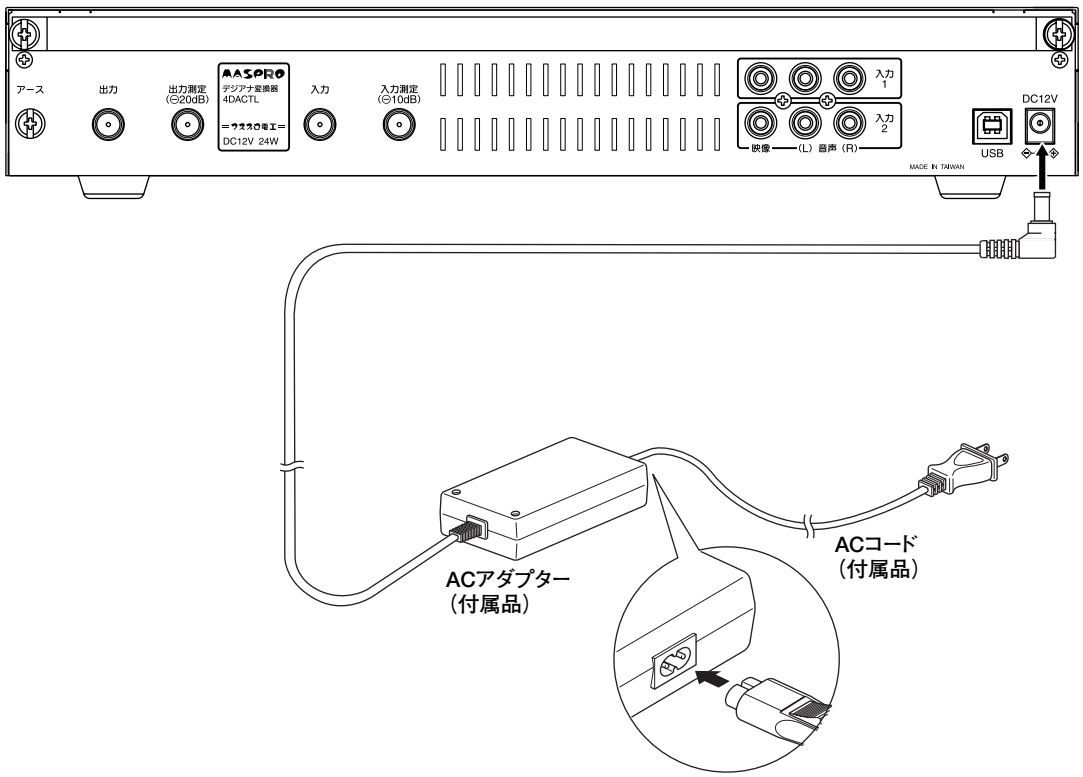
地上デジタルチューナーは
2台まで接続可能です。

設定の前に　電源を入れる

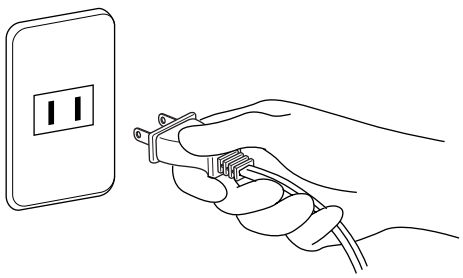
① 本器に，付属のACアダプターを接続します。
（ACアダプターとACコードを接続します）

ご注意

付属のACアダプター以外は使用しないでください。

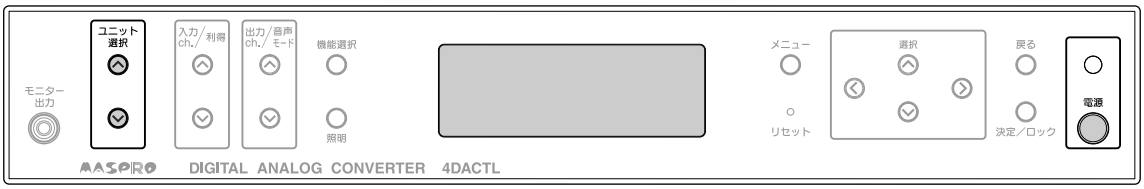


② ACプラグをACコンセントに差込みます。



設定の前に　電源を入れる つづき

③ 本器の電源を入れます。

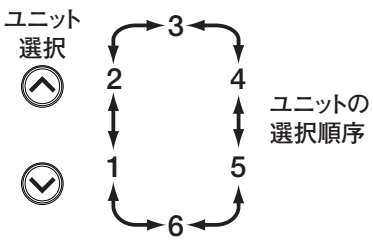


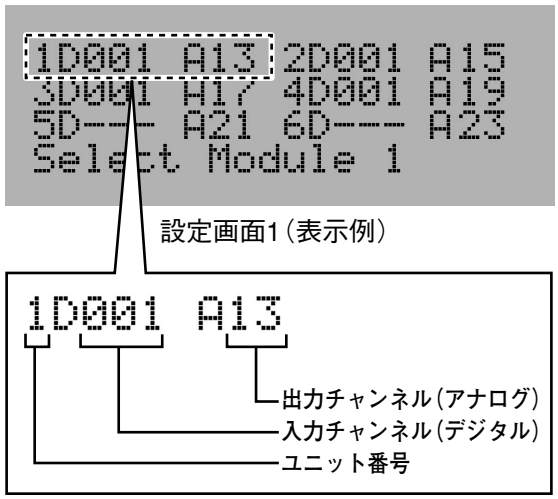
電源
◯ 押す

電源表示灯が緑色に点灯し，表示部に型式とファームウェアのバージョンが表示され，その後，設定画面が表示されます。

表示部

ユニット選択 ⌃⌄ でユニット「**1**」を選択します。
（「**Select Module**」が「**1**」となっていることを確認）

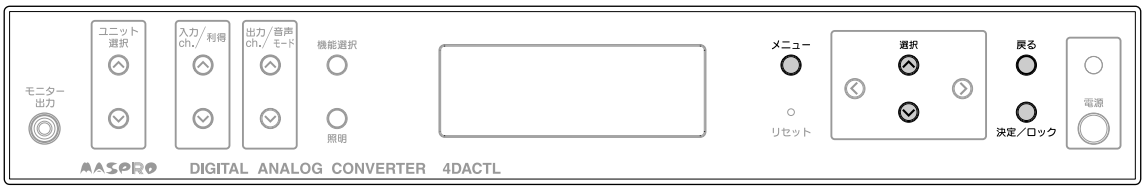




設定情報の一括コピー

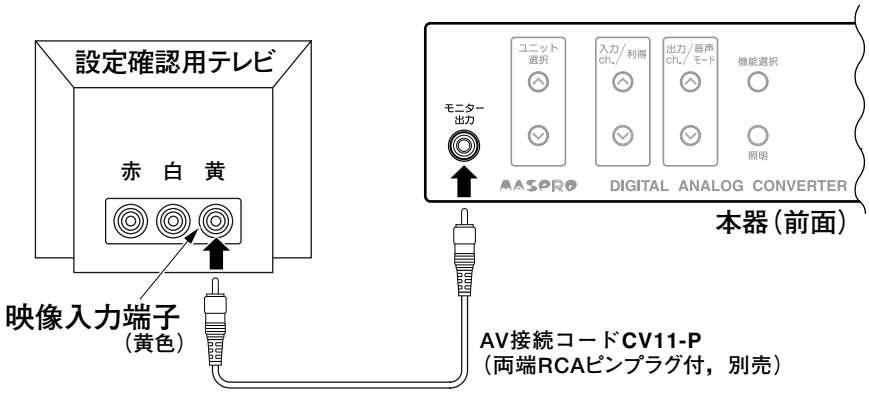
最初にユニット「**1**」の設定をすれば，「**受信チャンネル**」と「**画面サイズ**」は，残りのユニット「**2**」～「**4**」に，ユニット「**1**」の設定を一括してコピーできます。
（p.16「**受信チャンネルのコピーおよび画面設定情報の一括コピー**」参照）

初期設定　受信チャンネルを設定する



1. 設定確認用テレビの接続

モニター出力端子と，設定確認用テレビの映像入力端子（黄色）を別売のAV接続コード**CV11-P**（両端RCAピンプラグ付）で接続します。

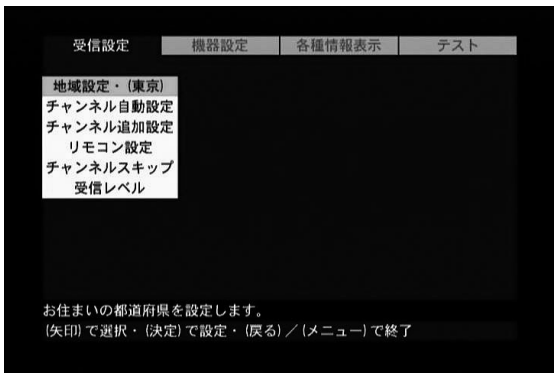


2. 地域の選択

設定確認用テレビの画面

① メニュー ◯ 押す

設定確認用テレビの画面に，
右のような画面が表示されます

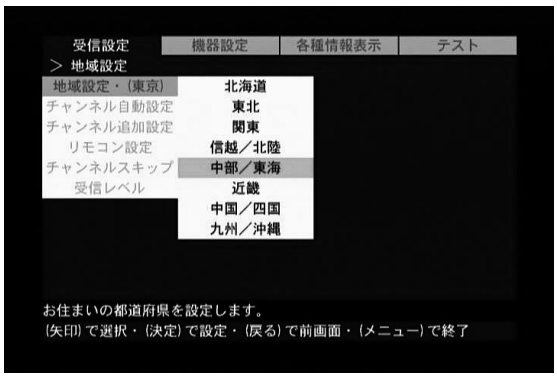


② ◯ 決定／ロック 押す

地域選択の画面が表示されます

選択 ⌃⌄ で地域を選択し

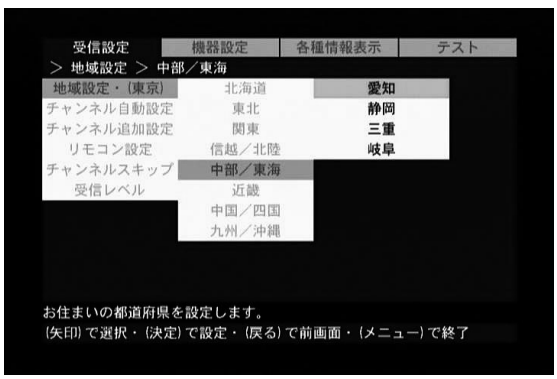
◯ 決定／ロック 押す



③ 都道府県選択の画面が表示されます

選択 ⌃⌄ で都道府県を選択し

◯ 決定／ロック 押す

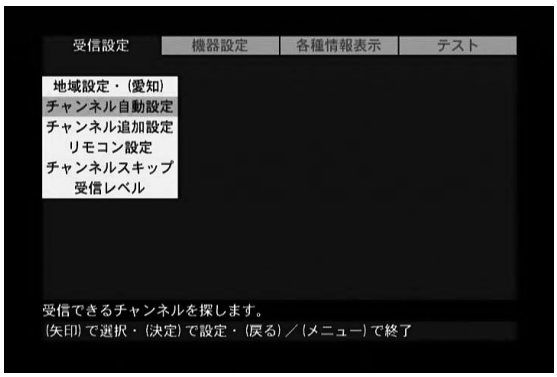


初期設定　受信チャンネルを設定する つづき

3. チャンネル自動設定

① 選択 ㊑㊒ で「**チャンネル自動設定**」を選択し

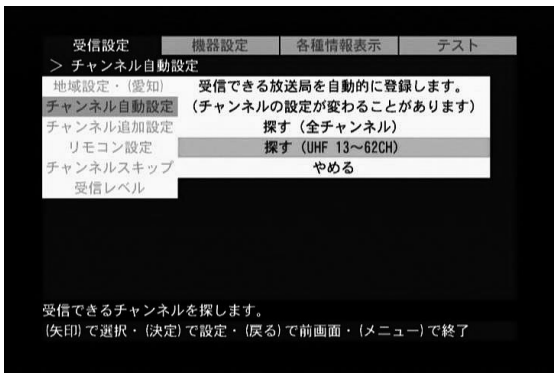
◯ 決定／ロック　押す



② 選択 ㊑㊒ で「**探す(UHF 13～62CH)**」を選択し

◯ 決定／ロック　押す

チャンネル自動設定(チャンネルスキャン)が開始されます



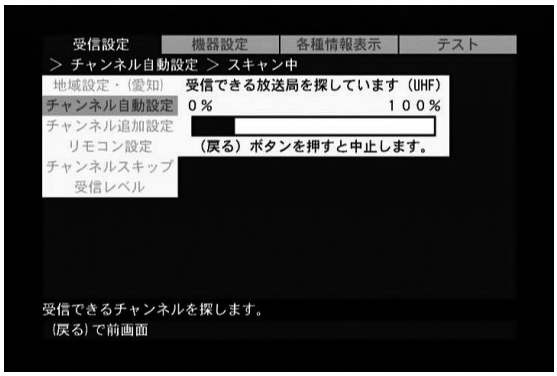
4. チャンネル自動設定中

チャンネル自動設定には，しばらく時間がかかります

チャンネル自動設定を中止する場合

戻る
◯ 押す

前の画面に戻ります



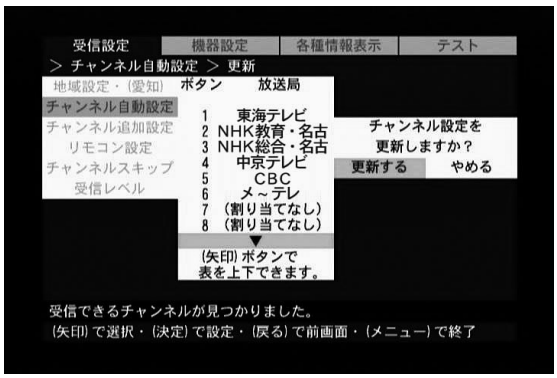
5. チャンネル自動設定の終了

選択 ㊑㊒ で表を上下させて受信チャンネルを確認する

「**更新する**」が選択されていることを確認し

◯ 決定／ロック　押す

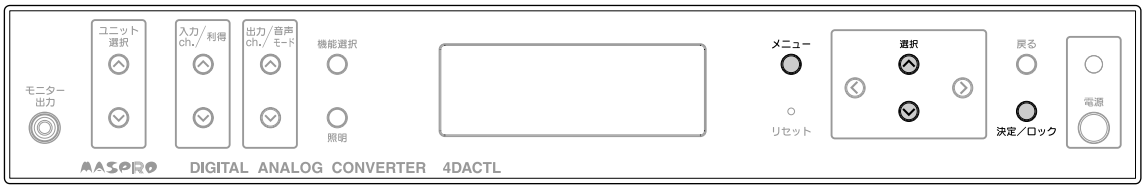
メニュー
◯　押す



正常に視聴できない場合

- 地上デジタル送信塔に，地上デジタル放送受信用(UHF)アンテナが向いているか確認してください。
- アンテナ受信レベルの低い地域では，チャンネルスキャンですべてのチャンネルが見つからないことがあります。この場合，p.15「**6.受信レベルの確認**」をして，地デジ受信用アンテナの方向を調整したり，高利得のアンテナに変えたりするなどの対策を行なってください。
- アンテナ受信レベルの低い地域では，一部またはすべてのチャンネルを視聴できないことがあります。この場合，p.15「**6.受信レベルの確認**」をして，p.14「**3.チャンネル自動設定**」から操作を行なってください。

初期設定　受信チャンネルを設定する つづき



6. 受信レベルの確認

① メニュー ◯ 押す

設定確認用テレビの画面に，
右のような画面が表示されます

選択 ㊑ で「**受信レベル**」を選択し

◯ 決定／ロック 押す

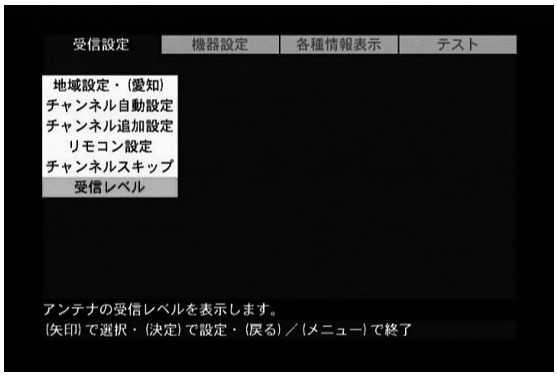
② 選択 ㊑ で受信レベルを確認したい
チャンネルに合わせて

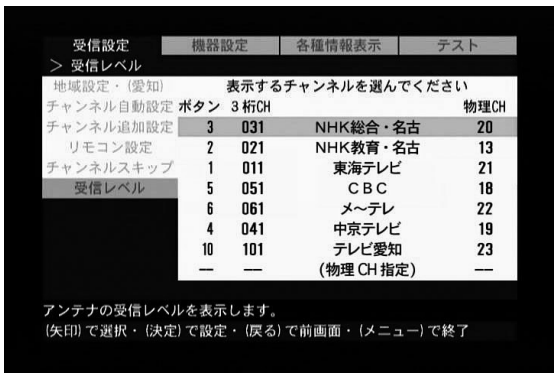
◯ 決定／ロック 押す

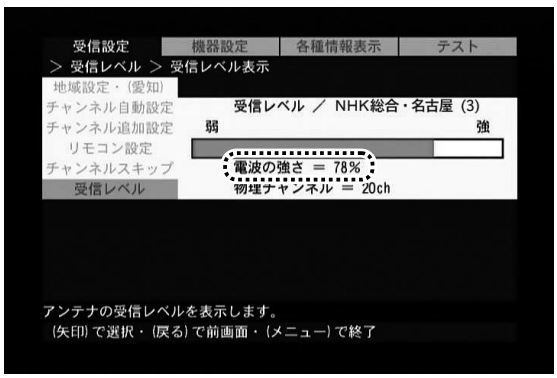
③「電波の強さ」が「60％」以上になるよう
にアンテナの方向を調整する

（アンテナの方向調整は，UHFアンテナの取扱説明書をご覧ください）

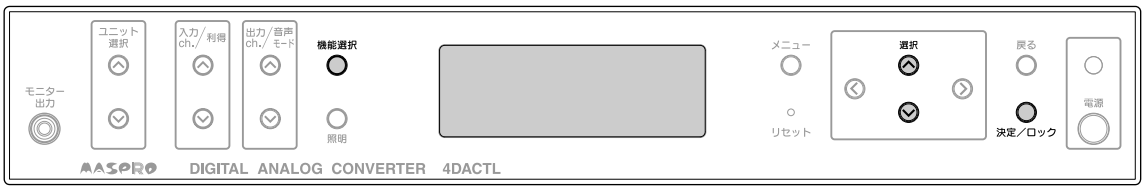
設定確認用テレビの画面







初期設定　受信チャンネルを設定する つづき



7. 受信チャンネルのコピーおよび画面設定情報の一括コピー

- ●本器には「1」～「4」の内蔵ユニットがあります。
- ●ユニット「1」のチューナーでチャンネル自動設定した受信データを「2」～「4」のユニットに一括してコピーできます。
- ●ユニット「1」に設定されている画面サイズも一括して「2」～「4」のユニットにコピーされます。

（出荷時は，「ノーマル」（4:3画面）に設定してあります。画面サイズの確認および変更は，p.20「**接続しているテレビに合わせた設定**」をご覧ください。）

表示部

① 機能選択 ◯ を設定画面3の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

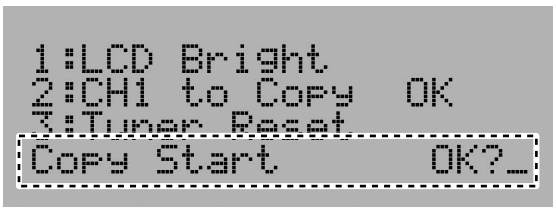
設定画面3（表示例）

②選択 ⌃⌄ で「2」を選択し「2:CH1 to Copy　OK ?_」と表示されていることを確認し

◯ 決定/ロック 押す

③画面の一番下に「Copy Start　OK?_」と表示されていることを確認し

◯ 決定/ロック 押す

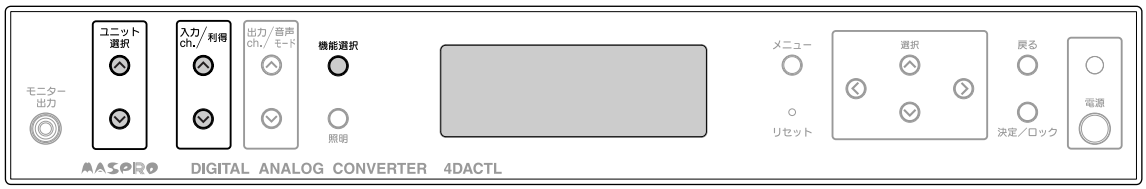


ユニット「1」のデータをユニット「2」～「4」にコピーする準備が整いました

ユニット「1」のデータをユニット「2」～「4」にコピー中です

コピーが終了しました

初期設定　受信チャンネルを設定する つづき



8. 受信チャンネル(デジタル)の設定

① 機能選択 ◯ を設定画面1の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

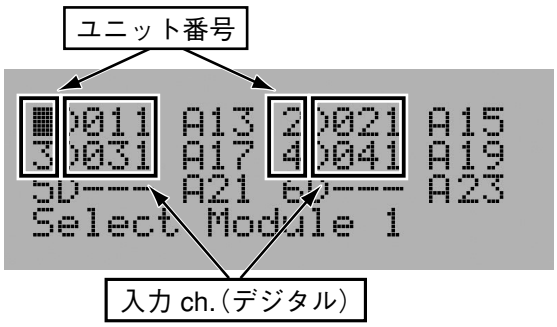
表示部

設定画面1(表示例)

② **ユニット選択** ⌃⌄ でチャンネルを設定するユニットを選択
（ユニット番号が点滅します）

入力ch. ⌃⌄で受信したいチャンネルに合わせる

（ユニット「5」,「6」のデジタルチャンネルは映像・音声入力端子1，2に接続した地上デジタルチューナーで設定します）

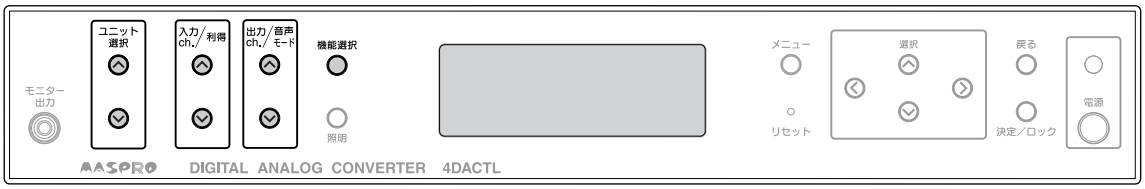


ご注意

- ユニット「5」「6」は，
  5:映像・音声入力1
  6:映像・音声入力2
  に接続した地上デジタルチューナーの受信チャンネルを設定してください。
- 入力ch.の3ケタ目が「1」であるチャンネルに，必ず設定してください。

  D□□1
  └ 必ず「1」にする

初期設定　受信チャンネルを設定する つづき



9. 出力チャンネル(アナログ)の設定

① 機能選択 ◯ を設定画面1の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

② **ユニット選択** ㊑ でチャンネルを設定するユニットを選択

（ユニット番号が点滅します）

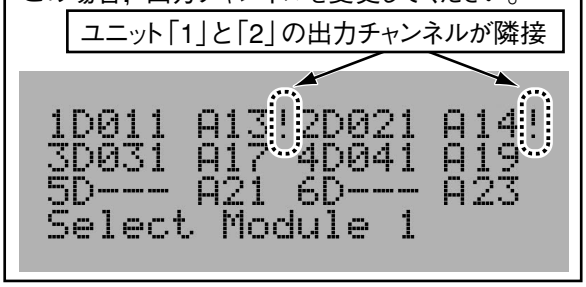
出力ch. ㊑ で出力したいチャンネルに合わせる

表示部

設定画面1(表示例)

ご注意

出力チャンネルを「隣接」または「同一」に設定すると出力チャンネルの右に「!」が表示されます。この場合，出力チャンネルを変更してください。



10. 出力チャンネル(アナログ)の出力レベル調整

本器の出力以降に使用した，ブースターへの入力レベルが高すぎるときに，本器の出力レベルを調整します。

① 機能選択 ◯ を設定画面2の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

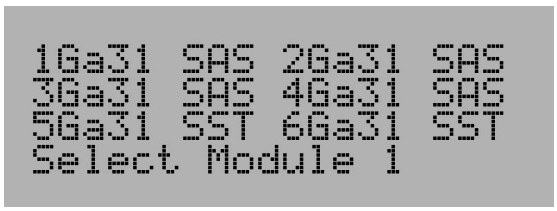
② **ユニット選択** ㊑ **でチャンネルを設定するユニットを選択**

（ユニット番号が点滅します）

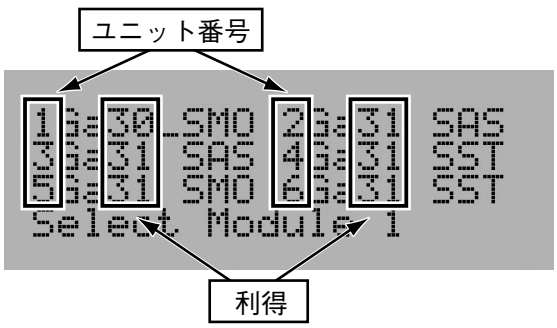
利得 ㊑ で出力レベルを調整します

「31」のとき出力レベルが最大で，31ステップ(31～00)で㊀10dB以上調整できます
(出荷時は「31」になっています)

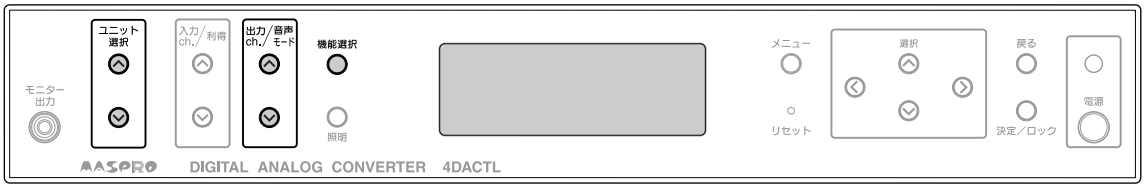
表示部



設定画面2(表示例)



初期設定　受信チャンネルを設定する つづき

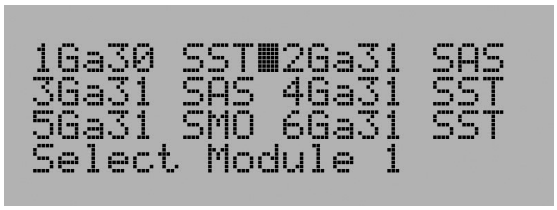


11. 音声出力モード設定

① 機能選択 ◯ を設定画面2の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

表示部



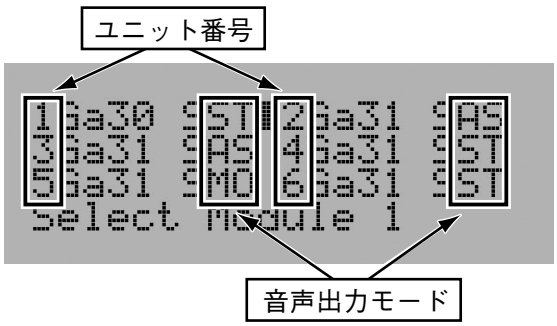
設定画面2（表示例）

② **ユニット選択** ⌃⌄ で音声出力モードを設定するユニットを選択
（ユニット番号が点滅します）

音声モード ⌃⌄ で音声出力モードを

オート（AS，AB）※，モノラル（MO），ステレオ（ST），二か国語（Bi）に設定します

※「オート」はユニット「1」～「4」のみ設定できます。



（●出荷時は，
ユニット「1」～「4」は「オート」，
ユニット「5」「6」は「ステレオ」（ST）になっています
●「オート」，「二か国語」に設定した場合，p.24「音声設定」を「主+副」に切換えてください）

音声出力モード

表示		音声出力モード
S	AS	オート（ステレオ放送のとき）
	AB	オート（二カ国語放送のとき）
	MO	モノラル
	ST	ステレオ
	Bi	二か国語

モード切換は AS/AB ↔ MO ↔ ST ↔ Bi の順に切換わります

初期設定　接続しているテレビに合わせた設定

施設内で使用しているテレビの画面［4：3（ノーマル）または16：9（ワイド）］に合わせて設定を行います。

ご注意

通常は「ノーマル」の設定にしてください。「ワイド」に設定すると標準（4:3）テレビで視聴した場合，縦長の画面になります。

正しい画像（画面サイズ設定：ノーマル）

4:3の映像ソースの場合

16:9の映像ソースの場合

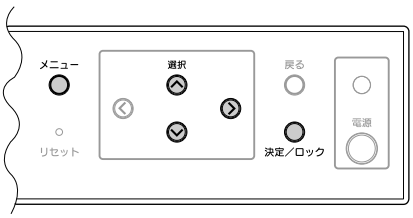
縦長の画像（画面サイズ設定：ワイド）

4:3の映像ソースの場合

16:9の映像ソースの場合

推奨設定

●施設内のすべてのテレビが4：3のとき　：「ノーマル」
●施設内のすべてのテレビが16：9のとき　：「ワイド」
●4：3と16：9のテレビが混在しているとき：「ノーマル」



画面設定をしたい,「1」～「4」のユニットを選択してください。
「5」,「6」のユニットは外付け地上デジタルチューナーの取扱説明書を参照して,
画面サイズを設定してください。

① メニュー ◯ 押す

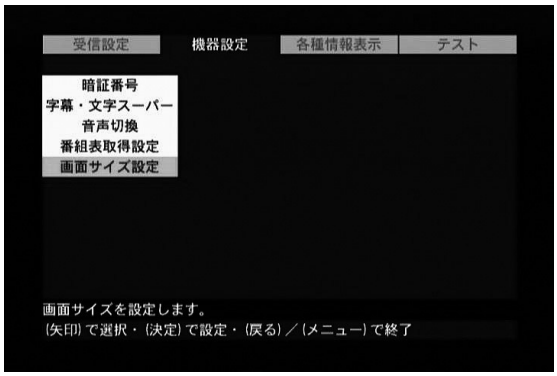
選択 ⊙ で「**機器設定**」を選択する

設定確認用テレビの画面に,
右のような画面が表示されます

選択 ⊙⊙ で「**画面サイズ設定**」を
選択し

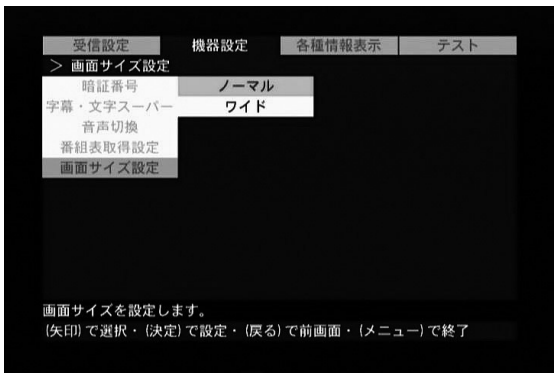
◯ 決定／ロック 押す

設定確認用テレビの画面



② 選択 ⊙⊙ で「**ノーマル**」または
「**ワイド**」を選択し

◯ 決定／ロック 押す



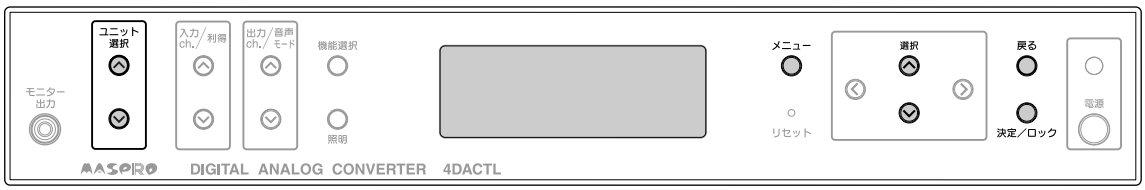
各ユニットの画面サイズを一括で設定する場合

各ユニットの画面サイズを一括で設定するときは,
p.16「**7.受信チャンネルのコピーおよび画面設定情報の一括コピー**」をご覧ください。

その他の設定　受信チャンネルの変更

すでに設定してある受信チャンネルの設定を変更します。

●受信地域はそのままで，受信チャンネルが追加または変更されたときに行います。
●機器の移動などで，受信地域が変更になった場合，p.13の「2. 地域の選択」から
p.17の「8. 受信チャンネル（デジタル）の設定」を行なってください。



① ユニット**選択** ㊑ でユニット「**1**」を選択し
「**Select Module**」が「**1**」となっていることを確認する

表示部

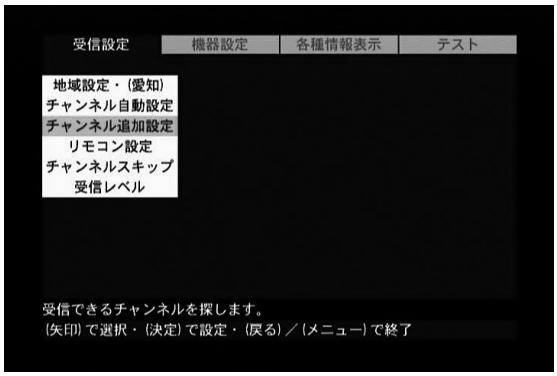
② メニュー ◯ 押す

設定確認用テレビの画面に，
右のような画面が表示されます

選択 ㊑ で「**チャンネル追加設定**」を選択し

◯ 決定／ロック　押す

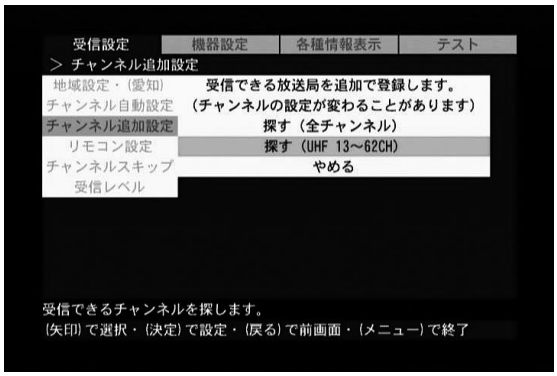
設定確認用テレビの画面



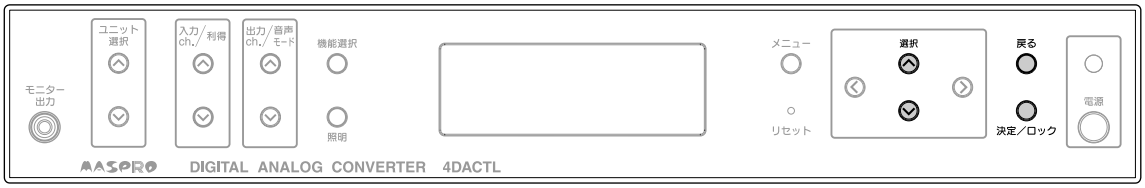
③ 選択 ㊑ で「**探す（UHF 13〜62CH）**」を選択し

◯ 決定／ロック　押す

チャンネル追加設定が開始されます



その他の設定　受信チャンネルの変更 つづき



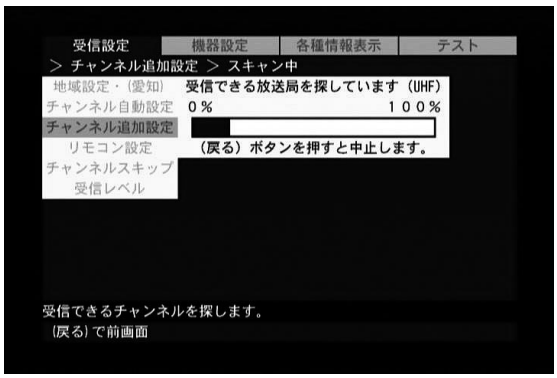
④ チャンネル追加設定には，しばらく時間がかかります

チャンネル追加設定を中止する場合

戻る
◯ 押す

前の画面に戻ります

設定確認用テレビの画面



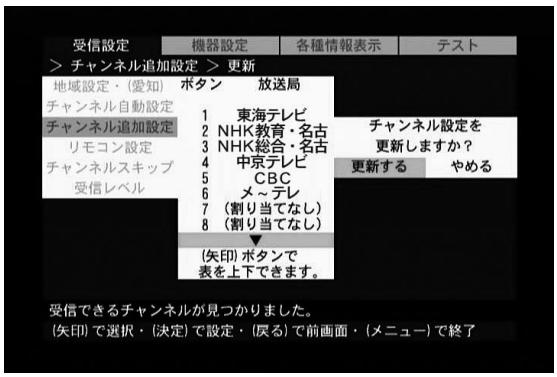
⑤ チャンネル追加設定の終了

選択 ㊑㊒ で追加チャンネルが

受信チャンネル登録されていることを確認する

「**更新する**」が選択されていることを確認し

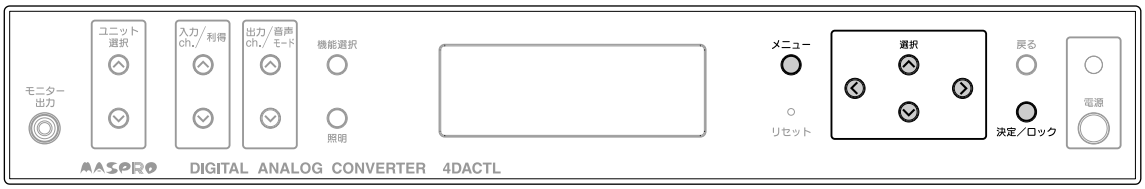
決定／ロック
◯ 押す



⑥ チャンネル追加設定した受信データをユニット「2」～「4」に一括してコピーする場合，p.16「**7.受信チャンネルのコピーおよび画面設定情報の一括コピー**」を行なってください。

その他の設定　設定画面

ユニット「1」～「4」は，設定画面から各項目を選んで，下記の設定を行うことができます。



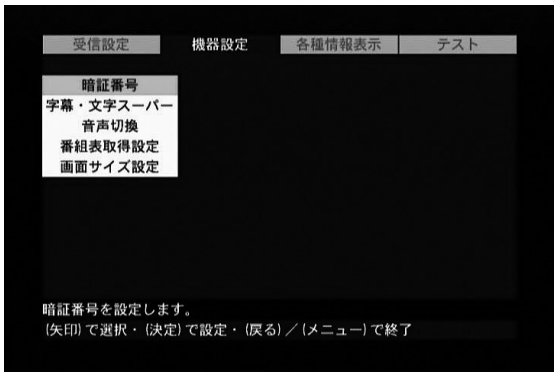
メニュー ◯ 押す

選択 ㊀㊁ で「**機器設定**」，「**各種情報表示**」を選択

選択 ㊂㊃ で設定する項目を選び

◯ 決定／ロック 押す

設定確認用テレビの画面



各項目の詳しい設定方法は，下記に示した各ページをご覧ください。

受信設定

地域設定・（東京）	→ p.13 地域の選択
チャンネル自動設定	→ p.14 チャンネル自動設定
チャンネル追加設定	→ p.21 受信チャンネルの変更
リモコン設定	→ 本器では使用しません
チャンネルスキップ	→ 本器では使用しません
受信レベル	→ p.15 受信レベルの確認

機器設定

暗証番号	→ 本器では使用しません
字幕・文字スーパー	→ 本器では使用しません
音声切換	→ p.24 音声設定
番組表取得設定	→ 本器では使用しません
画面サイズ設定	→ p.20 接続しているテレビに合わせた設定

各種情報表示

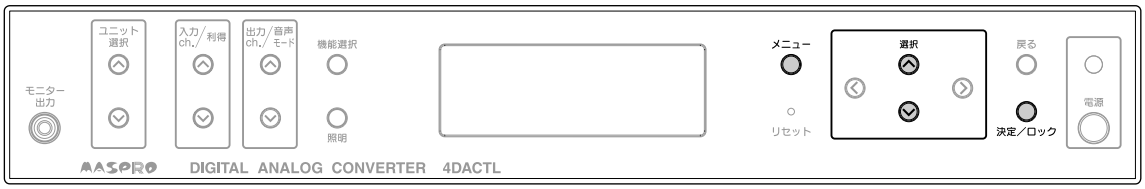
Ｂ－ＣＡＳ情報	→ p.25 B-CASカード情報
バージョン情報	→ p.25 バージョン情報（ファームウェアバージョン）
放送メール	→ 本器では使用しません

テスト

Ｂ－ＣＡＳテスト	→ 本器では使用しません
全設定消去	→ 本器では使用しません

その他の設定　音声設定

内蔵の地上デジタルチューナーの音声出力を切換えます。
p.19「11.音声出力モード設定」を「オート（AS, AB）」，「二か国語（Bi）」に設定した場合，地上デジタルチューナーの出力を「主十副」に切換えてください。



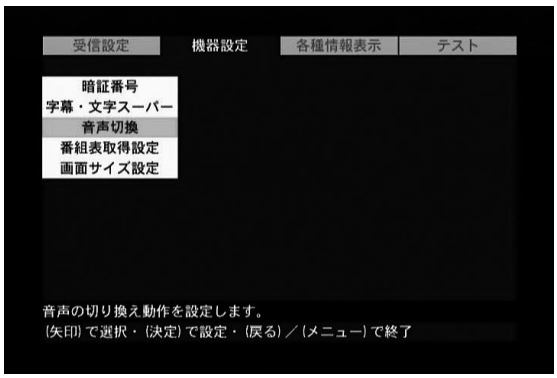
チューナーモジュールの音声切換を行ないます。

①メニュー ○ 押す

選択 ㊀㊁ で「**機器設定**」を選び
選択 ㊂㊃ で「**音声切換**」を選び

○ 決定／ロック 押す

設定確認用テレビの画面

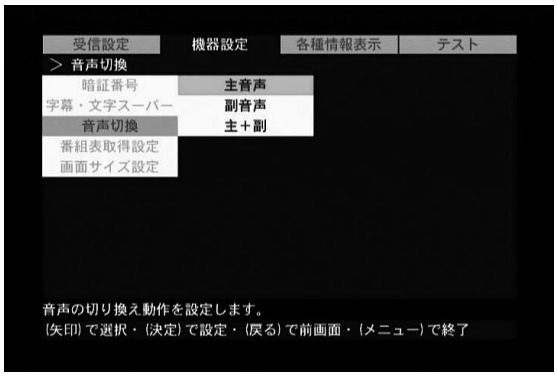


②選択 ㊂㊃ で設定したい項目を選び

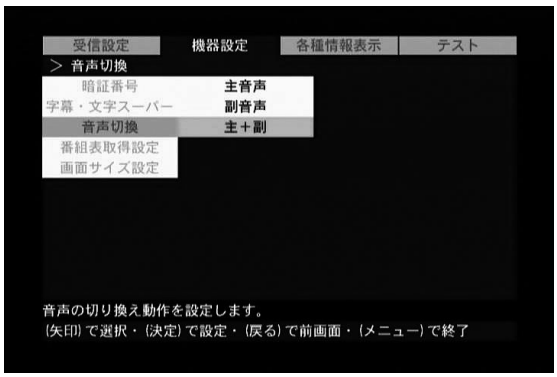
○ 決定／ロック 押す

（出荷時は「**主音声**」になっています）

「主音声」	主音声のみ出力
「副音声」	副音声のみ出力
「主十副」	主音声と副音声を出力



③「主十副」を選択した画面です

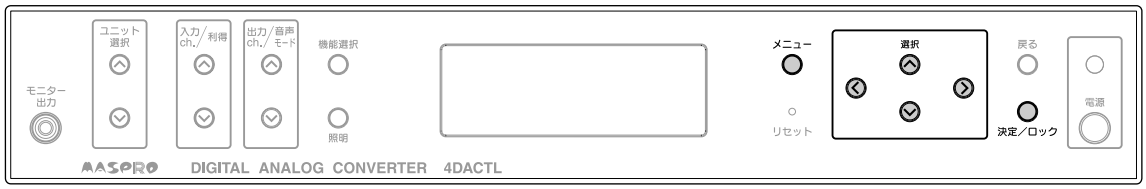


その他の設定　B-CASカード情報，バージョン情報

挿入されているB-CASカードの情報と，バージョン情報（ファームウェアバージョン）を表示します。

ご注意

B-CASカードを挿入していないと，B-CASカード情報は表示されません。



B-CASカード情報

メニュー ○ 押す

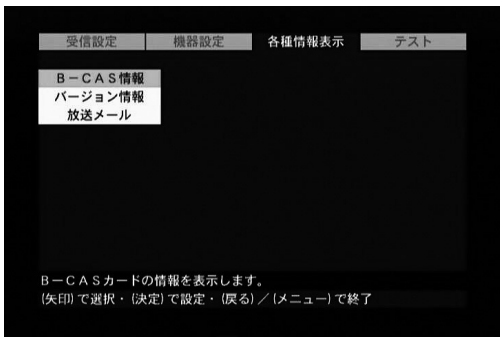
選択 〈〉 で「**各種情報表示**」を選択し

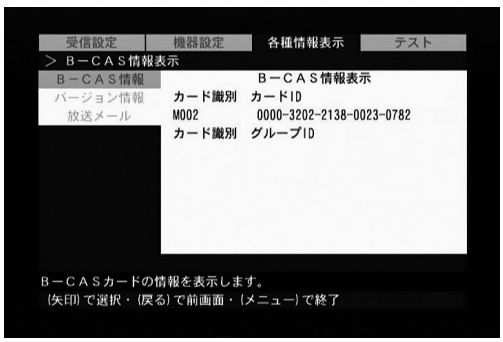
選択 ∧∨ で「**B-CAS情報**」を選び

○ 決定/ロック 押す

B-CASのカード情報が表示されます

設定確認用テレビの画面





バージョン情報（ファームウェアバージョン）

メニュー ○ 押す

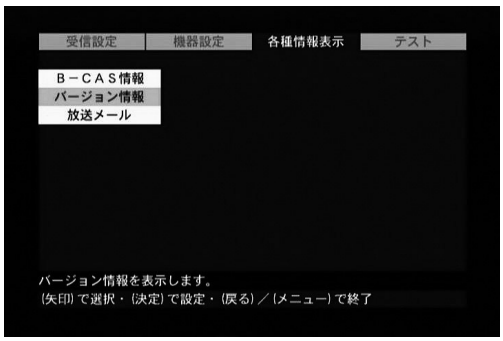
選択 〈〉 で「**各種情報表示**」を選択し

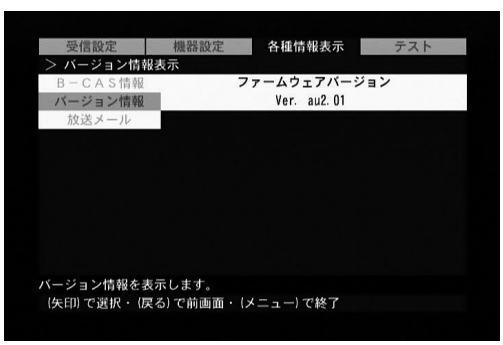
選択 ∧∨ で「**バージョン情報**」を選び

○ 決定/ロック 押す

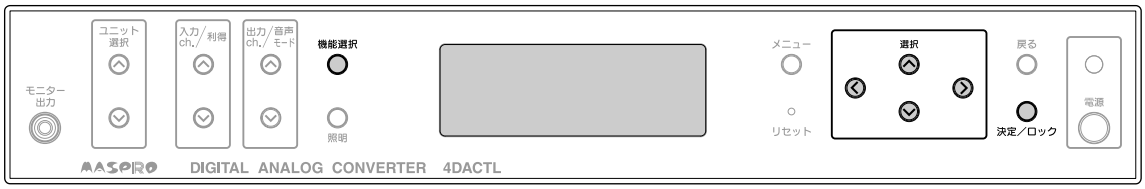
ファームウェアのバージョン情報が表示されます

設定確認用テレビの画面





その他の設定　音声レベルの変更



音声がひずむ，または，音声が小さいときに調整します。

① 機能選択 ○ を設定画面3の表示になるまで

数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

② 選択 ㊤㊦ で「6」を選びます

選択 ㊧㊨ で音声レベルを変更したいユニットを選びます
（ALLにすると一括で変更できます）

③ ○ 決定／ロック 押す

選択 ㊧㊨ で音声レベルを変更します

「31」のとき音声レベルが最大で，31ステップ（31～00）で10dB以上調整できます
（出荷時は「31」になっています）

音声を確認し

○ 決定／ロック 押す

②に戻ります

表示部

設定画面3（表示例）

その他の設定　放送メッセージ表示設定

緊急放送，放送チャンネルの変更などのデータを受信したとき，下記のようなメッセージが表示されます。

緊急放送メッセージ

緊急放送が行われるとき，表示されます。

- ◯ 決定／ロック を押すと緊急放送が行われている チャンネルに切換わります
- 戻る ◯ を押すと緊急放送メッセージが消えます

チャンネル変更メッセージ

お住まいの地域で，チャンネル変更や開局などが行われたとき，表示されます。

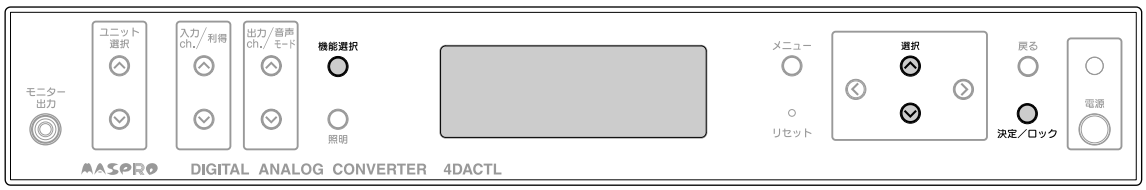
表示は，約10秒で消えます。

「メッセージ」の説明

チャンネル変更メッセージが消えた後，そのメッセージが，電源を入れるたびに数日間表示されることをお知らせします。

メッセージをすぐに消去する場合

放送メッセージは，表示されてから約1秒後に消えるように設定できます。



① 機能選択 ◯ を設定画面3の表示になるまで数回押す
（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

② 選択 ⌃⌄ で「4」を選択し「4：Auto Off OSD YES?_」と表示されていることを確認し

決定／ロック ◯ 押す

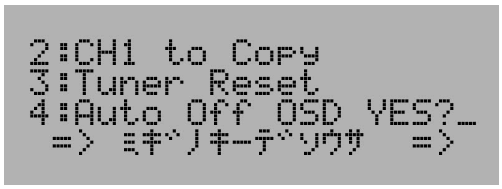
③「4：Auto Off OSD NO　?_」と表示が変わり，メッセージの表示時間が約1秒になります。

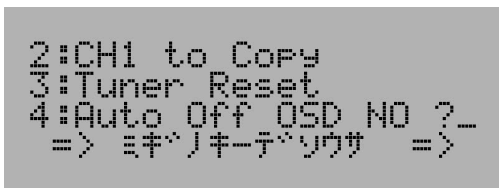
ご注意

緊急放送メッセージも１秒で消えます。

表示部

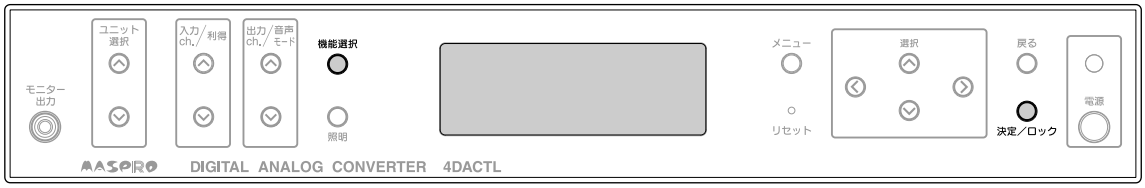
設定画面3（表示例）





その他の設定　キーロック

キーロック（決定／ロックボタンで設定）



照明ボタンを除く，すべてのボタン操作を無効にします。

キーロックの設定

① 機能選択 ○ を設定画面1の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

表示部

```
1D011 A13 2D021 A15
3D031 A17 4D041 A19
5D--- A21 6D--- A23
Select Module 1
```

設定画面1（表示例）

② 設定画面1のとき

○ 決定／ロック を長押し（約5秒）します

「Select Module 1」が「Key Lock　　ON」の表示に変わり

```
1D011 A13 2D021 A15
3D031 A17 4D041 A19
5D--- A21 6D--- A23
Key Lock       ON
```

約1秒後「Key Lock !」の表示に変わります

```
1D011 A13 2D021 A15
3D031 A17 4D041 A19
5D--- A21 6D--- A23
    Key Lock!
```

キーロックの解除

「Key Lock !」の表示が出ているとき

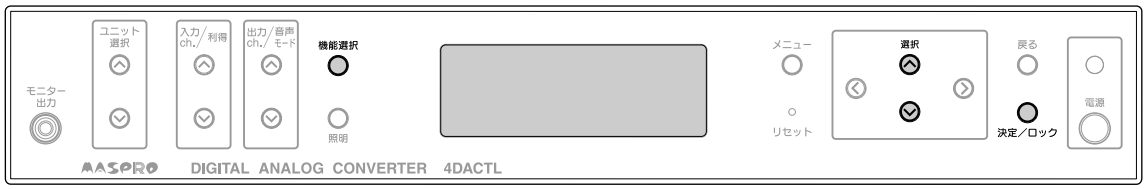
○ 決定／ロック を長押し（約5秒）すると，

「Key Lock　　OFF」の表示に変わり，ロックが解除されます

```
1D011 A13 2D021 A15
3D031 A17 4D041 A19
5D--- A21 6D--- A23
Key Lock       OFF
```

その他の設定　キーロック つづき

キーロック（設定画面で設定）



設定画面3からもキーロックできます。

キーロックの設定

機能選択
① ◯ を設定画面3の表示になるまで数回押す

（設定画面は機能選択ボタンを3回押すと一巡します）

表示部

設定画面3（表示例）

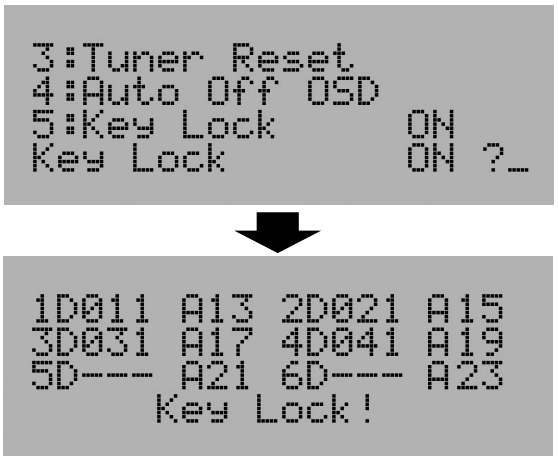
② 選択 ⌃⌄ で「5」を選び

◯ 決定／ロック 押す

「Key Lock ON ?」と表示が出たら

◯ 決定／ロック 押す

「Key Lock !」の表示に変わります



キーロックの解除

「Key Lock !」の表示が出ているとき

◯ 決定／ロック を長押し（約5秒）する

「Key Lock OFF」の表示に変わり，ロックが解除されます

困ったとき　故障とお考えになる前に，メッセージ一覧

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源を入れてもすぐに映像が表示されない。	本器のソフトウェア起動に時間がかかる	表示画面に型式，ファームウェアのバージョン情報が表示され，ソフトウェアが起動するまでお待ちください。
設定画面が消えない。	「メニュー」ボタン以外のボタンで操作している。	「メニュー」ボタンをもう一度押すと設定画面が消えます。 違うユニットのメニューを操作してる可能性があります。 メニュー操作をするときは，モニター出力の表示を見ながら行うことをおすすめします。
すべてのボタンの操作ができない。	キーロックがかかっている。	キーロックを外してください。（p.28，29）

メッセージ一覧

本器の状態によって，メッセージが表示されることがあります。

メッセージ	処置	ページ
（メニュー）ボタンを押してチャンネル設定を行ってください。	地上デジタル放送受信用（UHF）アンテナからのケーブルを接続してから，「メニュー」でチャンネルスキャンを行なってください。	13
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください。	地上デジタル放送受信用（UHF）アンテナからのケーブルおよびコネクターの接続を確認してください。 （アンテナの方向調整が必要なことがあります）	—
B-CASカードを確認してください。	B-CASカードが正しく装着されていない可能性があります。ACプラグをACコンセントから抜いてから，本体背面のB-CASカードカバー取付ビスを取外して，B-CASカードカバーを取外し，B-CASカードを一度抜き差ししてください。正しく装着しても改善されないときは，当社 支店・営業所にお問合わせください。	9
緊急警報放送が始まりました。（決定）ボタンで切換えます。	◯ 決定／ロック を押してください。 緊急警報放送チャンネルを選局します。	27

地上デジタル放送チャンネル 一覧

地上デジタル放送のチャンネルを，地域別に表示してあります。他地域の放送を受信した場合，チャンネルと放送局名が異なることがあります。

地域	チャンネル	放送局名
北海道（北見）	01	HBC北見
	02	NHK教育・北見
	03	NHK総合・北見
	05	STV北見
	06	HTB北見
	07	TVH北見
	08	UHB北見
北海道（旭川）	01	HBC旭川
	02	NHK教育・旭川
	03	NHK総合・旭川
	05	STV旭川
	06	HTB旭川
	07	TVH旭川
	08	UHB旭川
北海道（釧路）	01	HBC釧路
	02	NHK教育・釧路
	03	NHK総合・釧路
	05	STV釧路
	06	HTB釧路
	07	TVH釧路
	08	UHB釧路
北海道（帯広）	01	HBC帯広
	02	NHK教育・帯広
	03	NHK総合・帯広
	05	STV帯広
	06	HTB帯広
	07	TVH帯広
	08	UHB帯広
北海道（札幌）	01	HBC札幌
	02	NHK教育・札幌
	03	NHK総合・札幌
	05	STV札幌
	06	HTB札幌
	07	TVH札幌
	08	UHB札幌
北海道（室蘭）	01	HBC室蘭
	02	NHK教育・室蘭
	03	NHK総合・室蘭
	05	STV室蘭
	06	HTB室蘭
	07	TVH室蘭
	08	UHB室蘭

地域	チャンネル	放送局名
北海道（函館）	01	HBC函館
	02	NHK教育・函館
	03	NHK総合・函館
	05	STV函館
	06	HTB函館
	07	TVH函館
	08	UHB函館
青森	01	RAB青森放送
	02	NHK教育・青森
	03	NHK総合・青森
	05	青森朝日放送
	06	ATV青森テレビ
岩手	01	NHK総合・盛岡
	02	NHK教育・盛岡
	04	テレビ岩手
	05	IAT岩手朝日テレビ
	06	IBC岩手放送
	08	岩手めんこいテレビ
宮城	01	TBCテレビ
	02	NHK教育・仙台
	03	NHK総合・仙台
	04	ミヤギテレビ
	05	KHB東日本放送
	08	仙台放送
秋田	01	NHK総合・秋田
	02	NHK教育・秋田
	04	ABS秋田放送
	05	AAB秋田朝日放送
	08	AKT秋田テレビ
山形	01	NHK総合・山形
	02	NHK教育・山形
	04	YBC山形放送
	05	YTS山形テレビ
	06	テレビユー山形
	08	さくらんぼテレビ
福島	01	NHK総合・福島
	02	NHK教育・福島
	04	FCT福島中央テレビ
	05	KFB福島放送
	06	テレビユー福島
	08	福島テレビ

地域	チャンネル	放送局名
千葉	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	03	チバテレビ
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学
茨城	01	NHK総合・水戸
	02	NHK教育・東京
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学
栃木	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	03	とちぎテレビ
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学
群馬	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	03	群馬テレビ
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学
埼玉	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	03	テレ玉
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学

地域	チャンネル	放送局名
東京	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	09	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	01	NHK総合・東京
	02	NHK教育・東京
	03	tvk
	04	日本テレビ
	05	テレビ朝日
	06	TBS
	07	テレビ東京
	08	フジテレビ
	12	放送大学
山梨	01	NHK総合・甲府
	02	NHK教育・甲府
	04	YBS山梨放送
	06	UTY
新潟	01	NHK総合・新潟
	02	NHK教育・新潟
	04	TeNYテレビ新潟
	05	UX新潟テレビ21
	06	BSN新潟放送
	08	NST新潟総合テレビ
長野	01	NHK総合・長野
	02	NHK教育・長野
	04	テレビ信州
	05	abn長野朝日放送
	06	SBC信越放送
	08	NBS長野放送
富山	01	KNB北日本放送
	02	NHK教育・富山
	03	NHK総合・富山
	06	チューリップテレビ
	08	BBT富山テレビ
福井	01	NHK総合・福井
	02	NHK教育・福井
	07	FBC福井放送
	08	福井テレビ

地上デジタル放送チャンネル 一覧 つづき

地域	チャンネル	放送局名
石川	01	NHK総合・金沢
	02	NHK教育・金沢
	04	テレビ金沢
	05	北陸朝日放送
	06	MRO北陸テレビ
	08	石川テレビ
静岡	01	NHK総合・静岡
	02	NHK教育・静岡
	04	静岡第一テレビ
	05	あさひテレビ
	06	SBS静岡放送
	08	テレビ静岡
愛知	01	東海テレビ
	02	NHK教育・名古屋
	03	NHK総合・名古屋
	04	中京テレビ
	05	CBC
	06	メ～テレ
	10	テレビ愛知
岐阜	01	東海テレビ
	02	NHK教育・名古屋
	03	NHK総合・岐阜
	04	中京テレビ
	05	CBC
	06	メ～テレ
	08	岐阜テレビ
三重	01	東海テレビ
	02	NHK教育・名古屋
	03	NHK総合・津
	04	中京テレビ
	05	CBC
	06	メ～テレ
	07	三重テレビ
滋賀	01	NHK総合・大津
	02	NHK教育・大阪
	03	BBCびわ湖放送
	04	MBS毎日放送
	06	ABCテレビ
	08	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
京都	01	NHK総合・京都
	02	NHK教育・大阪
	04	MBS毎日放送
	05	KBS京都
	06	ABCテレビ
	08	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
大阪	01	NHK総合・大阪
	02	NHK教育・大阪
	04	MBS毎日放送
	06	ABCテレビ
	07	テレビ大阪
	08	関西テレビ
	10	よみうりテレビ

地域	チャンネル	放送局名
兵庫	01	NHK総合・神戸
	02	NHK教育・大阪
	03	サンテレビ
	04	MBS毎日放送
	06	ABCテレビ
	08	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
奈良	01	NHK総合・奈良
	02	NHK教育・大阪
	04	MBS毎日放送
	06	ABCテレビ
	08	関西テレビ
	09	奈良テレビ放送
	10	よみうりテレビ
和歌山	01	NHK総合・和歌山
	02	NHK教育・大阪
	04	MBS毎日放送
	05	テレビ和歌山
	06	ABCテレビ
	08	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
鳥取	01	日本海テレビ
	02	NHK教育・鳥取
	03	NHK総合・鳥取
	06	BSS山陰放送
	08	山陰中央テレビ
島根	01	日本海テレビ
	02	NHK教育・松江
	03	NHK総合・松江
	06	BSS山陰放送
	08	山陰中央テレビ
岡山	01	NHK総合・岡山
	02	NHK教育・岡山
	04	RNC西日本放送
	05	KSB瀬戸内海放送
	06	RSKテレビ
	07	テレビせとうち
	08	OHK岡山放送
広島	01	NHK総合・広島
	02	NHK教育・広島
	03	RCC中国放送
	04	広島テレビ
	05	広島ホームテレビ
	08	TSSテレビ新広島
山口	01	NHK総合・山口
	02	NHK教育・山口
	03	tysテレビ山口
	04	KRY山口放送
	05	yab山口朝日放送
高知	01	NHK総合・高知
	02	NHK教育・高知
	04	高知放送
	06	テレビ高知
	08	さんさんテレビ

地域	チャンネル	放送局名
徳島	01	四国放送
	02	NHK教育・徳島
	03	NHK総合・徳島
香川	01	NHK総合・高松
	02	NHK教育・高松
	04	RNC西日本放送
	05	KSB瀬戸内海放送
	06	RSKテレビ
	07	テレビせとうち
	08	OHK岡山放送
愛媛	01	NHK総合・松山
	02	NHK教育・松山
	04	南海放送
	05	愛媛朝日テレビ
	06	あいテレビ
	08	テレビ愛媛
福岡	01	KBC九州朝日放送
	02	NHK教育・福岡
	02	NHK教育・北九州
	03	NHK総合・福岡
	03	NHK総合・北九州
	04	RKB毎日放送
	05	FBS福岡放送
	07	TVQ九州放送
	08	TNCテレビ西日本
佐賀	01	NHK総合・佐賀
	02	NHK教育・佐賀
	03	STSサガテレビ
長崎	01	NHK総合・長崎
	02	NHK教育・長崎
	03	NBC長崎放送
	04	NIB長崎国際テレビ
	05	NCC長崎文化放送
	08	KTNテレビ長崎
熊本	01	NHK総合・熊本
	02	NHK教育・熊本
	03	RKK熊本放送
	04	KKTくまもと県民
	05	KAB熊本朝日放送
	08	TKUテレビ熊本
大分	01	NHK総合・大分
	02	NHK教育・大分
	03	OBS大分放送
	04	TOSテレビ大分
	05	OAB大分朝日放送
宮崎	01	NHK総合・宮崎
	02	NHK教育・宮崎
	03	UMKテレビ宮崎
	06	MRT宮崎放送
鹿児島	01	MBC南日本放送
	02	NHK教育・鹿児島
	03	NHK総合・鹿児島
	04	KYT鹿児島読売TV
	05	KKB鹿児島放送
	08	KTS鹿児島テレビ

地域	チャンネル	放送局名
沖縄	01	NHK総合・那覇
	02	NHK教育・那覇
	03	RBC琉球放送
	05	QAB琉球朝日放送
	08	OTV沖縄テレビ放送

規格表・付属品

規格表 Specifications

MASPRO

項目 *Items*		規格
入力周波数 *Input Frequency*		470～770MHz（地上デジタル放送）
受信チャンネル *Reception Channels*		地上デジタル放送の内，最大4チャンネル
出力周波数 *Output Frequency*		470～770MHz（変換したアナログ信号）
出力チャンネル *Output Channels*		ch.13～62の内，最大6チャンネル（隣接不可）
入力レベル範囲 *Input Level Range*		50～90dBμV（地上デジタル放送）
最大出力レベル *Maximum Output Level*		90dBμV以上（変換したアナログ放送信号）
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*		0～㊀10dB以上（最大値に対して㊀10dB以上連続可変）
音声モード *Audio Signal Mode*		ステレオ・2か国語対応
入力信号 *Input Signal Format*		ISDB-T（地上デジタル放送）
出力信号 *Output Signal Format*	映像変調方式 *Video Modulation Type*	VSB-AM（NTSC）
	音声変調方式 *Audio Modulation Type*	FM（音声多重）
地上デジタル入力端子インピーダンス *RF Input Port Impedance*		75Ω（F型コネクター）
地上アナログ出力端子インピーダンス *RF Output Port Impedance*		75Ω（F型コネクター）
映像入力端子インピーダンス *Video Input Port Impedance*		75Ω（RCAピンジャック，2系統）
音声入力端子インピーダンス *Audio Input Port Impedance*		47kΩ（RCAピンジャック，LR各2系統）
モニター出力端子インピーダンス *Output Monitor Port Impedance*		75Ω（RCAピンジャック）
入力測定端子結合量 *Tap Value of Input Test Point*		㊀10dB（F型コネクター）
出力測定端子結合量 *Tap Value of Output Test Point*		㊀20dB（F型コネクター）
電源 *Power Requirements*		AC100V　50・60Hz（付属ACアダプターを使用，本体DC12V）
消費電力 *Power Consumption*		約24W／約41VA（付属ACアダプターを使用）
使用温度範囲 *Temperature Range*		0～㊉40℃
使用湿度範囲 *Humidity Range*		20～80％（結露のないこと）
外観寸法 *Dimensions*		61（H）×338（W）×268（D）mm（突起部を除く）
質量（重量） *Weight*		約2.8kg（付属ACアダプターを除く）

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

付属品

ACアダプター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
ACコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
B-CASカード
（業務用B-CASカード使用許諾契約約款付）・・・・・・ 4

だ・か・ら eco 環境負荷物質を抑止
特定有害物質使用規制(RoHS指令)対応

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 TEL名古屋 **(052) 805-3366**

受付時間 9～12時，13～17時
(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネットホームページ www.maspro.co.jp

技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

九州沖縄(シ)	(092) 551-1711	岡山	(086) 252-5800	岐阜	(058) 275-0805	前橋	(027) 263-3767
福岡(支)	(092) 551-1711	松山	(089) 973-5656	豊橋	(0532) 33-1500	水戸	(029) 248-3870
沖縄	(098) 854-2768	高知	(088) 882-0991	静岡	(054) 283-2220	宇都宮	(028) 636-1210
鹿児島	(099) 812-1200	高松	(087) 865-3666	松本	(0263) 57-4625		
宮崎	(0985) 25-3877			福井	(0776) 23-8153	東北北海道(シ)	(022) 786-5062
熊本	(096) 381-7626	近畿(シ)	(06) 6632-1144	金沢	(076) 249-5301	仙台(支)	(022) 786-5060
長崎	(095) 864-6001	大阪(支)	(06) 6635-2222			郡山	(024) 952-0095
北九州	(093) 941-4026	姫路	(079) 234-6669	関東(シ)	(03) 3499-5632	盛岡	(019) 641-1500
下関	(083) 255-1130	神戸	(078) 231-6111	関東(工)	(03) 3499-5631	秋田	(018) 862-7523
		京都	(075) 646-3800	東京(支)	(03) 3409-5505	青森	(017) 742-4227
中国四国(シ)	(082) 230-2359			新潟	(025) 287-3155	札幌	(011) 782-0711
広島(支)	(082) 230-2351	東海北陸(シ)	(052) 802-2233	横浜	(045) 784-1422	釧路	(0154) 23-8466
松江	(0852) 21-5341	東海(工)	(052) 804-6262	八王子	(042) 637-1699	旭川	(0166) 25-3111
		名古屋(支)	(052) 802-2233	千葉	(043) 232-5335		
		津	(059) 234-0261	さいたま	(048) 663-8000		

(シ)：システム営業グループ
(工)：工事グループ

MAY, 2010

2K56-338

DN(B)-05-5338-1C